

新入生のみなさんへ

2020年4月16日

育英大学・育英短期大学
学長 石井 學

新型コロナウイルスの猛威のため入学式を挙げてできず大変残念ですが、ホームページでのご挨拶を申し上げます。

新入生のみなさん入学おめでとうございます。みなさんを、新たな仲間を迎えるにあたり、教職員一同歓迎の意を込めて、私より期待と希望を簡単に述べさせていただきます。

期待または希望は、大学時代物事に常に疑問を持ちつづけてほしいという事です。人間は本来生まれながらにして貪欲で、何にでも驚き、不思議に思うと、その答えを探し求めるものです。

ところが成長するにつれて疑問に感じるものが少なくなってくるようです。これは、よく考えてみると、同じ事に度々出くわしているため、物事に疑問を持たなくなってしまう、感動を失っているだけかも知れません。また、日本における暗記中心の受験制度も影響しているとも思えます。さらに、一度こうと決めただけで、本当は間違っている答えを、信じ込んでいくことも多くなるかも知れません。

物事に疑問を持たなくなる事は、学びの世界では障害以外の何物でもありません。驚きと疑問を忘れ、当たり前的事として、受け入れていけば進歩はなくなります。

驚き、疑問が真理への出発点となっている事、独断的偏見や、先入観にとらわれていることが、真理の発見の大きな障害になっている事に気づいて下さい。物事に常に疑問を持ち、常に新鮮な驚きを持ちつづける事が肝心です。

みなさんが、それぞれの領域で常に新鮮な驚きと、疑問を持ちつづけて、生き生きとした学生時代を送られる事を願っています。

このことを申し上げ、みなさんを仲間を迎える歓迎の言葉とします。

むすびに、長い人生にとって本学での4年間、2年間の学生生活が、楽しく、実り多いものとなり、生涯記憶に残る事を期待して止みません。